

10月~3月



10月23日:第18回宮崎県高齢者大会
記念講演:森崎志津子氏(あや9条の会世話人)



波島エイサー同好会のみなさん



くにとみ天領太鼓のみなさん

◎“宮崎生協病院健康まつり”11月4日、地域のみなさんの参加を含めて1,000名を超える来場者で賑わいました。
◎中学生の吹奏楽演奏、園児の歌やダンス、エイサーや太極拳、ひよっとこ踊りなどで会場は盛り上がりました。

◎10・11月は“秋の医療生協強化月間”。バスハイクやグラウンドゴルフなどを通して755名の仲間が増えました。
◎10月5日:クリニックのべおか健康まつり ◎10月16日:生協いきいき健康ウォークinあや
◎3月28日:医療生協ウォーキングin市民の森 他

8月~9月



8月7~9日:原水爆禁止世界大会in長崎(組合員さん2名・職員7名が参加)



9月17日:「秋の医療生協強化月間 がんばろう」集会



9月9日:風船ビースクワシオン(憲法9条改憲NO/平和な日本を)



8月3日:めだかの保健学校「アイサービスの利用者と交流(延岡地区)」



講師:松本茂子氏(大分県医療生協副理事長)



佐土原支部の365歩のマーチ

◎めだかの保健学校(7月20日:宮崎地区) ◎組合員のつどい(東北地区:9月28日、都北支部:9月7日) 他

“写真でみる”

2019年度宮崎医療生協の主な組合員活動

2020年度も健康で明るい組合員活動を目指します!

*7月8~9日『第43回九州沖縄ブロック組合員交流研修会in奄美』
*健康まつり・健康ウォーク・保健学校・学習会・レクリエーション(バスハイク・グラウンドゴルフ大会)など



コープみやさきの店舗で“まちかど健康チェック”を行いました。
小松支部の料理教室では、減塩料理とみそ汁塩分チェックを実施しました。
介護施設でボランティア活動に参加(みんなの家「夏祭り」)
新班ができました(写真は都北支部「ほほえみ班」)

4月~5月



4月1日:2019年度宮崎医療生協赴任式(15名が入職) 任式



WHO世界保健デー(新入職員の研修「コープみやさき店での健康チェック」)



5月11日:北2支部総会(「くらしの中の契約」を学びました)



4月21日:生協いきいき健康ウォークin日向(コープみやさきと医療生協の組合員さん114名が参加)



5月24日:宮崎中央クリニック総代会議(病院の経営や医療生協西課題の取り組みなどの意見が交わりました)

その他
◎4月18日~5月18日、17支部で支部総会を開催
◎5月24日~30日、6つのブロックで区域別総代会議を開催 他

6月~7月



6月30日:180名の総代が参加した『第30回通常総代会』



6月22日:「国の責任で医療と介護の充実を求める集会」医療生協を含め各団体から55名が参加



6月23日~7月7日:国民平和大行進(宮崎市コースでは各団体から約200名が宮崎市橋通りを行進)

7月9~10日 第42回九州沖縄ブロック組合員交流研修会in鹿児島(会場:城山ホテル鹿児島)

◎記念講演『わたしたちはどう生きるか』
講師:本田 宏氏(NPO法人医療制度研究会副理事長)

【審議・決定事項】

- 1) 1月度の組合員増やしは65名(目標120名)、出資金増資は336万円(目標699万円)、班づくり1班、班会開催70回。九州沖縄ブロック組合員交流研修会(奄美)は30名参加予定。これはな支部で開催された新年集会上は組合員43名が参加。医療福祉連合会の方針検討集会上では、2030年に向けた取り組みの計画や担い手の問題が提起。
- 2) 2/26市民連合みやさきシンポジウム「3/8原爆いらないのちの広場」「2020年NPT&世界大会ニューヨークへの派遣」についての紹介。「改憲発議に反対する全国緊急署名」の取り組みについての提案、「宮崎病床再編構想」について報告。
- 3) 12月の法人の経常利益は164万円(予算差+33万円)、累計の経常利益3,888万円(予算差+471万円)の到達。
- 4) 第31回通常総代会の総代定数と総代選挙管理委員会についてについて提案。総代定数は7選挙区から226名、選挙管理委員は組合員理事から3名、職員から2名。
- 5) 「医系学生および薬学部学生の奨学金変更について」提案。薬学部学生の奨学金を10万円に改定。
- 6) 「地域限定・職務限定の職種拡大と定期昇給」について提案。職種については新たに社会福祉士を追加。定期昇給については60歳までに変更。1号議案から6号議案は、異議なく承認・可決された。

今、宮崎医療生協は		2020年1月末現在	
■新規加入者	65名(1/1~1/31)	■総組合員数	50,594名
■出資金	6億2,190万円	■平均出資金	12,292円
■班数	317班	■おげんきでずか手配り配布数	20,169部

「宮崎生協病院医師紹介」

今月は浜田暁子医師です

皆さん、こんにちは。宮崎生協病院でリハビリ、一般内科、訪問診療(往診)を担当している浜田暁子です。

「リハビリ」と聞くと骨折や脳梗塞、脳出血後に行うイメージがあるかもしれませんが、今は肺炎や肺気腫に対する呼吸器リハ、心不全や心筋梗塞後の心臓リハ、嚥下障害に対する摂食・嚥下リハ、癌の方に対する癌リハと幅広い病気が対象となっています。退院後もできるだけのケアを行うように自宅での生活ができるように、色々な職種と協力して治療をおこなっています。

現在50名近くの方の往診を行っています。「入院せずに住みながら自宅や施設で過ごしたい」と希望される方も多く、訪問看護、訪問リハなどでサポートし、自宅での看取りも行っていきます。プライベートではお酒と美味しいものが大好きで、山形屋の物産展によく出かけます。でも最近では体重が増え元に戻りにくくなったので「今年こそ健康のために」何か運動をはじめなくてはと焦っています。

虹の声 宮崎生協病院 虹の意見箱

2月度宮崎生協病院利用委員会

生協病院の予約票は、以前のようにもう少し大きく出来ないのでしょうか。

ご指摘の件は、用紙ではなく記載文字の大きさと推奨いたします。2018年11月のシステム変更以降、同様のご意見を幾度となく頂戴しております。文字の大きさについては、現システムでできる最大値となっており、現時点でこれ以上大きくすることは技術的に不可能であるとの回答をメーカーより受けています。ご要望にお応えできず誠に申し訳ありません。今後のシステム更新の際に、頂いたご意見を参考にさせていただきます。

おげんき仲間、配布協力員紹介

温厚な人柄の日高久美子さんを運営委員にと早くから思っていました。多くの役職があり、高齢のお母さんの介護と忙しい毎日なので、「おげんきですか」の配布のみをお願いしていました。

昨年、多くの人が人生の模範としていた美春お母さんが、百一歳の天寿をまっとうされました。喪が明けてから運営委員をお願いに行き、行事と重なるかもと言われながらも、快く引き受けていただきました。

おだやかな物腰の彼女が運営委員会に出席してくれると心が安らぎます。健康チェックサポーター養成講座、医療生協の通信教育にも挑戦中です。まちかど健康チェックなどにも参加されています。前向きな彼女に期待します。

(国富総支部運営委員一同)

支部活動紹介 あおき支部

あおき支部で年間通して取り組んでいることは、「地域まるごと健康づくり」と、組合員の健康づくりのため、健康チェックの班活動を楽しく参加して頂けるように力を入れています。

参加した組合員さんが自分の健康状態を知ることができ、「こんな活動なら組合員でなくても誘いたい」と言われるような楽しい内容に取り組んでいます。

レクリエーションとして、年一回のバスハイクは、「こんなにも楽しければまた参加したいし、近所の人にも誘おう」と言ってもらえるような計画をしています。

これらの課題は、担い手づくりと運営委員体制の強化です。何とかしたいと考えています。(支部長 加島宏司)